

ラブ・ダイアリーズ (2008)

DEFINITELY, MAYBE

メディア 映画

ジャンル ロマン스 コメディ ミステリー

製作国 イギリス/アメリカ/フランス

色彩 Color

時間 112分

公開情報 劇場未公開

【解説】

離婚する妻との馴れ初めを娘に聞かれた父親が3人の女性との物語を語り、誰が母親だったかを推理させる親子のハートフルなやりとりを描いたロマンティック・コメディ。監督は『姉のいた夏、いない夏』のアダム・ブルックス。出演は『スモーキン・エース/暗殺者がいっぱい』のライアン・レイノルズと『お買い物中毒な私!』のアイラ・フィッシャー。

ニューヨーク、マンハッタン。別居中の妻から離婚届けを突きつけられたウィル。ある日、離婚を思いとどまって欲しいと願う小学生の娘マーヤから妻との馴れ初め話をせがまれる。仕方なく物語仕立てで話すことにしたウィルは、そのストーリーに登場する3人の女性のうち、マーヤの母親になったのは誰かを彼女自身に推理させることに。時は1990年代。学生時代からの恋人エミリーとの結婚を決意するウィル。次に出会ったのはクリントンの選挙事務所で同僚だったエイプリルで、彼女とは親友のような関係になる。そして3人目の恋人サマーはエミリーの友人でもあった。そんな複雑なウィルの恋愛遍歴を聞いてどれが本当の母親か、ますます解らなくなるマーヤだが…。

【クレジット】

監督	アダム・ブルックス	Adam Brooks	
製作	ティム・ビーヴァン	Tim Bevan	
	エリック・フェルナー	Eric Fellner	
製作総指揮	ライザ・チェイシン	Liza Chasin	
	ボビー・コーエン	Bobby Cohen	
脚本	アダム・ブルックス	Adam Brooks	
撮影	フロリアン・バルハウス	Florian Ballhaus	
プロダクションデザイン	ステファニー・キャロル	Stephanie Carroll	
衣装デザイン	ゲイリー・ジョーンズ	Gary Jones	
編集	ピーター・テッシュナー	Peter Teschner	
音楽	クリント・マンセル	Clint Mansell	
出演	ライアン・レイノルズ	Ryan Reynolds	ウィル・ヘイズ
	アイラ・フィッシャー	Isla Fisher	エイプリル
	デレク・ルーク	Derek Luke	ラッセル
	アビゲイル・ブレスリン	Abigail Breslin	マーヤ・ヘイズ
	エリザベス・バンクス	Elizabeth Banks	エミリー
	レイチェル・ワイズ	Rachel Weisz	サマー
	アダム・フェラーラ	Adam Ferrara	
	アニー・パリッセ	Annie Parisse	
	ネストール・セラノ	Nestor Serrano	

ケヴィン・コリガン	Kevin Corrigan
ジェイミー・ティレリ	Jaime Tirelli
ケヴィン・クライン	Kevin Kline